

令和4年度 学校経営構想

1 学校経営の理念

職員と子供が幸せ

人として未熟であるから、学び続け、みんなの力を合わせる

2 学校経営の基本方針

(1) 船越小の形を貫く - 自立と共生 -

船越小の形は「自立と共生」である。自立と共生は対立する概念ではなく、表裏一体だ。助け助けられ共生できる人が、よりよく自立した人である。

コロナの時代に、当たり前が当たり前でなくなり、何が正しいのか不安定になっている。正しさを求め、社会に正しさを課す動きもある。しかし、大事なことは、自分で考えることだ。そして、人の考えも尊重し、共感し、許し、助け合うことだ。職員も子供も、温かく互いを大切にし、厳しく切磋琢磨する関係になる。

自分から主体的に、人を大切にして共に生きる「自立と共生」を貫く。

(2) 子供と職員の安全を第一とする

子供の安全は全てに優先する。尊い子供の命を預かる学校の危機管理は最重要課題である。感染症や地震、風水害、熱中症、アレルギー、不審者、交通、体罰、いじめ、虐待、その他日常での様々な危機から子供を守る。安全を第一とすることは、子供を人として大切にすることであり、職員を互いに大切にすることだ。

前年度に行った安全対策が、本年度も有効であるか検証する。各行事における安全対策や危機管理マニュアルを含めて、前年度までに確立している安全対策を見直し、機能するか検証し、実効性を高め続ける。

大事故はあってはならないが、万が一発生した場合には、校長の責任の下、被害の拡大を抑え、最大限誠実に、関係者に対応する。

(3) 子供と職員に過度な負担が加わらない配慮をしつつ、必要な活動は行う

今日は昨日と同じではない、という経験を私たちはした。その中で、何を明日へ残すのか。何をつくるのか。昨日と同じはあり得ない。本当に残したいものに、昨日よりも重点を置こう。廃止するものは廃止し、やるものはやる。やるものは「どうすればいいのか」「何ができるのか」を考える。

感染症対策として前年度に縮小した活動であっても、目的と効果を考えて、必要であれば縮小のままにせず、重点を置いて復活・拡大させる。

重点を置くのであるから、子供と職員に過度な負担が加わらない配慮をし、重点を置かないと判断すれば廃止・削減する。教育活動の廃止と重点化を意識する。

3 学校教育目標

心豊かに 人とつながり 創り出す -自立と共生-

「船越小の子供や家庭・地域の実態」をもとにして、はままつ人づくり未来プラン後期計画の「教育理念」「目指す子供の姿」の実現のために、この学校教育目標を設定する。

船越小の子供や家庭・地域の実態

- 明るい。素直。仲が良い。優しい。穏やか。地域行事に参加する。
- 与えられた学習に真面目に取り組む。認知学力は平均以上。
- 家庭・地域の教育力が高い。
- 自信を持って積極的に思考・判断・表現↓ 関わり合って高め合う↓
- 体力・運動能力↓ たくましさ・耐性・根気強さ↓

はままつ人づくり未来プラン後期計画 教育理念

未来創造への人づくり
市民協働による人づくり

はままつ人づくり未来プラン後期計画 目指す子供の姿

自分らしさを大切にする子供
夢と希望を持ち続ける子供
これからの社会を生き抜くための資質・能力を育む子供

「心豊かに」とは、心が動く体験を通して、知識・技能や思考力・判断力・表現力を高め、主体的・協働的に活動し、自身を鍛え充実させていくことである。

「人とつながり」とは、共に生きる他者に対して理解を深め、自身をさらに心豊かな状態にしていくことである。

「創り出す」とは、自身の知識・技能が他者との交流により発展し、新しい知識・技能を創造し、社会の変化に対応する力を付けることである。

4 目指す子供像

知・徳・体の調和のとれたふなっこ

子供たちが、心豊かに 人とつながり 創り出す子となるための総括的な子供像を「知・徳・体の調和のとれたふなっこ」とする。「確かな知性」「豊かな心」「健やかな体」のそれぞれに対し、自立と共生の観点を持った「目指す学校像」を設定する。この目指す学校像は、学校の教育活動のうち、重点を置いて行う活動を表現している。

子供像の具体を、重点を置いて設定し、学校教育目標の具現化を図る。

目指す 学校像

		学校教育目標 心豊かに 人とつながり 創り出す — 自立と共生 —	
		目指す子供像 知 徳 体 の調和のとれたふなっこ	
目指す 学校像		自立 みつめよう☆ (自己理解・自己管理能力)	共生 つながろう☆ (人間関係・社会形成能力)
確かな知性	楽しい学校 自分らしさが輝く	自分から主体的に学ぶ 楽しい学校の要素は「休み時間に友達と遊ぶことが楽しい」「行事が楽しい」等もありますが、船越小は「授業が楽しい」学校を目指します。 楽しさは主体性の源 【楽しい授業って何？】 子供が、楽しいと評価する授業のこと 1 学びが、自分の将来や社会とつながっていることが分かる授業 2 世界の素晴らしさを感動的に学ぶ授業 子供も教職員も本気で楽しい授業を目指す	みんなと共に学び合う 【自分らしさが輝くってどういうこと？】 自分らしさとは「生き方の軸」「知識・技能」「好き」「考え方」「楽しみ」 どの人も授業で自分らしさが表れる 「俺ってやるじゃん!」「私らしい!」「あの人すごい! あの人らしい!」「先生の思いが分かった!」 自分や人の素晴らしさに感動する 自分らしさはみんなの中で輝く 授業を中心に学校の全活動で豊かな人生を送るために学び合う
豊かな心	日本一の挨拶がこだまする学校	自分から主体的に関わる 【日本一の挨拶って何？】 日本一の挨拶の定義が初めから決まっているわけではありません。子供たち自身が日本一の挨拶って何だろうと考え、日本一という夢を高く掲げて、段階を踏んで目標を定めて進んでいくことが大切だと考えます。 日本一の挨拶を目指す活動 心豊かに挨拶できない子の内面にも寄り添う 様々な挨拶言葉「おはようございます」「始めましょう」「お願いします」等全て	みんなと共に関わり合う 関わり合うには規範意識が必要 規範意識を意図的に指導 規範意識と共に思いやりの心が育つ 力を合わせる素晴らしさと役に立つ喜び 喜んでいる人と一緒に喜び、悲しんでいる人と一緒に悲しむ 【関わり合いの挨拶って何？】 感謝の心 挨拶言葉ではないが交わされる言葉は「ありがとう」
健やかな体	夢を高く掲げる学校	自分から主体的に鍛える 【主体的に鍛えるために何が必要？】 1 高く掲げる夢 2 意欲につながる目標 3 自信を深める振り返り 高く掲げる夢は、「将来の職業」や「こんな人になりたい」という生き方の夢、あるいは行事で叶えたい夢かもしれません。そんな高く掲げる夢に向かって、意欲につながる目標を設定し振り返り、新たな目標を設定し振り返り、これを繰り返した先に夢があります。夢がない人もあわてることはありません。今を大切に生きていけば、その先に少しずつ夢が見えてきます。	みんなと共に鍛え合う 【共に鍛え合う関係とは？】 温かく互いを大切に、厳しく切磋琢磨する関係 小学生も互いを大切にするともに厳しく切磋琢磨する関係が必要→切磋琢磨し合う相手にこそ「おかげさま」「ありがとう」 仲間と取り組むよさを実感する 誰かがやるとき本気で応援する 「やってみよう!」「そうしよう!」

6 令和4年度 船越小の課題

「動から静へ」 定めていく 新たに動くために、定める

平成30年度のプール解体から始まった校舎や体育館、運動場の新設に関わる一連の工事の全てが令和3年度に終了した。ここ2年間はコロナ禍が重なり、変則的な教育課程を実施してきた。先が見通せないことには変わりはないが、令和4年度は確実に動きの幅は小さくなる。キーワードは「動から静へ」 教育課程を安定させる年にしたい。

しっかりと基本が定まれば、新たに動くこともできる。

(1) 私たちは船越小の教職員 = 信頼回復

令和3年度は悪い方向に激しく動いた。不祥事により、子供たちや家庭、地域を裏切った。私たち自身も信じるものを失くし、安定を失った。

それでも、子供たちの前向きな態度や家庭・地域からの温かい言葉に励まされた。子供たちや家庭・地域から信じていただけるようになるのは、いつのことは分からない。ただひたすら、当たり前のことを実践に行き、信頼回復に努めなくてはならない。私たち船越小の教職員は、この子供たちの人生に影響を与える立場にあることを自覚し、その喜びを感じる人間でいたい。私たちの行う教育がこの子供たちを育て、この子供たちが成長し、素晴らしい未来を必ずつくと信じる。

(2) いつでも だれでも ちょっとでも の人材育成

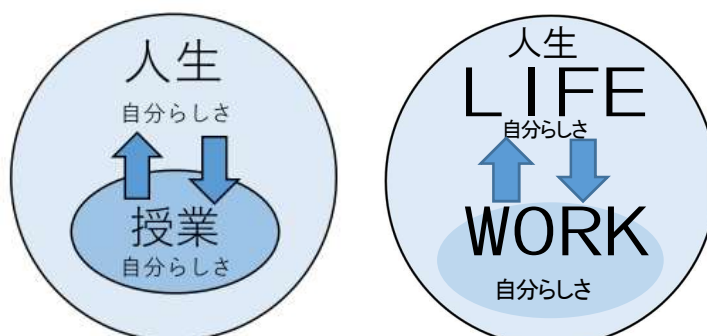
はままつ人づくり未来プランでは、社会の変化に対応する子供を求め、変化に対応するのは私たちだ。教育の情報化を積極的に進めてきたが、定着させる。CSやキャリア教育、行事、研修を定着させる。キーワードは「いつでも」「だれでも」「ちょっとでも」 普段の授業を互いに見せ、1年目の教員からも学ぶのが船越小だ。

(3) 働き方改革

はままつ人づくり未来プラン 学校における働き方改革の目的
～子供たちの健やかな成長に向けて教育の質の向上を図る。

船越小の働き方改革の目的
ここで元気になる！ ここで楽しくなる！

ワーク・ライフ・バランスと言うが、WORK と LIFE は相反するものではない。仕事は人生の重要な一部だ。仕事によって人生が豊かになり、人生によって仕事も豊かになる。ワークは不幸な時間ではない。自分のLIFEをぶつけてWORKしよう！



楽しい授業で楽しい人生

楽しい仕事で楽しい人生

7 目指す教職員像

浜松市 目指す教職員の姿

- (1) 愛情と情熱を持ち続ける教職員
- (2) 専門性と指導力を磨き続ける教職員

船越小学校 目指す教職員の姿

楽しく！ 生き生き！ カッコよく！

- (1) 子供を人として大切にする教職員
- (2) 仕事が充実している教職員
- (3) 厳正なサービス 危機管理を徹底する教職員
- (4) 学校教育目標・目指す学校像を達成する教職員

私たちは、温かく互いを大切に、厳しく切磋琢磨し合う職員集団だ。私たちは仕事をするための集団であるため、楽ではない。しかし、人を育てることに幸せを感じ、明るく楽しく働くことが、職員の皆さん自身と子供たちにとって大切なことだ。

- (1) 子供を人として大切にする教職員

人として敬意を払う 教師は子供を教える立場だが「どの子も人としてすごい！」

- (2) 仕事が充実している教職員

授業改善 楽しい授業 楽しい授業は、子供を人として大切にする授業
楽しい授業とは、職員が楽しいと思う授業

- (3) 厳正なサービス 危機管理を徹底する教職員

丁寧で迅速な対応 温かい対応 謝罪と感謝
心配を掛けた事実（※ 誤解を招いた事実）に謝罪

- (4) 学校教育目標・目指す学校像を達成する教職員

学校教育目標 **心豊かに 人とつながり 創り出す -自立と共生 -**

目指す学校像 **自分らしさが輝く楽しい学校 日本一の挨拶がこだまする学校 夢を高く掲げる学校**
(目標と学校像を文書に掲載)

学校教育目標と目指す学校像は単に目指すものではなく、達成するもの
全職員が、学校教育目標と目指す学校像を繰り返し子供に伝える

教職員一人一人が、社会に生きる大人として「楽しく！生き生き！カッコよく！」働き、力を合わせる姿を子供に示し、子供に夢を与える存在になること自体がキャリア教育だ。
目指す学校像は子供にとってのみならず職員にとっても目指す学校像だ。

- (1) 自分らしさが輝く楽しい学校（職場）
- (2) 日本一の挨拶がこだまする学校（職場）
- (3) 夢を高く掲げる学校（職場）

職員と子供が幸せ

自分らしさを輝かせよう！ キラーン☆
一緒に素晴らしい未来をつくりましょう